

# こうじえん 普及センターだより 耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

## 着任のごあいさつ

宮古農業改良普及センター 所長 加藤 満康

三陸の海原と山並みが風に光っています。春作業のさなか皆様には、今年度も安全で健康に暮らせること、そして穏やかな天気にも恵まれることをお祈りします。

さて、私こと、このたび宮古を出て9年ぶり、岩泉を出て2年ぶりに戻ってきました。今から94年前、西塔幸子は山田から岩泉へ赴任した時に「九十九折る 山路を超えて乗る馬の ゆきなづみつつ 日は暮れにけり」と詠いました。私は都合4回目の赴任になりますが、折れ曲がる旧道を横に見ながら山峡を貫く復興道路を走り、時代の変化に感慨を覚えているところです。

これまで宮古や山田、岩泉で勤務した時にお世話になった皆様は今も達者で暮らしているでしょうか。私も勤務地で大震災と台風第10号に見舞われ、目の前の状況に言葉も出ませんでした。その後皆様は、つらい気持ちを励まし合って歩んできたものと存じます。改めて、初心を忘れず地域の農業振興に尽くす決意ですのでよろしくお願い致します。

さて社会は、新型コロナ、気候変動や人口減少など時代の分水嶺にあり、大震災から10年経たこの先に、疫病と共存する社会や持続可能な社会など、新たな時代への転換が進むものと展望されています。

こうしたなか普及センターは、改めて社会変化や食料生産など農業の役割を確認しながら、地域の農業と人が次代につながっていくよう、「県民計画」や「普及指導計画」に即して、経営体と産地の育成、農村活性化に向けた活動を展開します。

宮古と岩泉の職場は、春の人事異動により転入が4名、新採用と再任用が各1名の計20名体制で始動しています。赴任してきた職員には早く地域と人を知って活躍してくれることを願っています。また私たちは、「宮古地方とともに、頼られ、役に立ちたい」との気持ちを胸に、皆様とともに一步一步前に進んでいく所存ですので、どうぞ本年度も職員一同よろしくお願い致します。



# 令和3年度 転入者の紹介

氏名 かとう みちやす  
**加藤 満康**

役職 **所長（宮古）**

前所属 奥州農業改良普及センター 所長

出身地 岩泉町

趣味 ジョギング

抱負 初心を心がけ、地域の良さを生かしていきたい。



氏名 たかはし あきよし  
**高橋 昭喜**

役職 **技術主幹兼地域指導課長（宮古）**

前所属 八幡平農業改良普及センター（岩手町駐在） 経営指導課長

出身地 宮古市

趣味 ヒミツ（人に言えるような趣味はないです）

抱負 粛々と業務に精進いたします。



氏名 さとう ともき  
**佐藤 知己**

役職 **主任農業普及員（宮古・再任用）**

前所属 岩手県立農業大学校 研修科教授

出身地 盛岡市

趣味 産直巡り

抱負 農村起業、産直、食の匠を担当しますので、よろしく  
お願いします。



氏名 おの なおき  
**小野 直毅**

役職 **農業普及員（宮古）**

前所属 岩手県農業研究センター 県北農業研究所 専門研究員

出身地 滝沢市

趣味 美味しいものを食べること（料理もします）

抱負 宮古地域のことを早く知り、貢献していきたいです。



氏名 <sup>ささき</sup>佐々木 <sup>ひさひこ</sup>久彦

役職 上席農業普及員（岩泉）

前所属 盛岡広域振興局農政部 主任主査

出身地 岩泉町

趣味 運転

抱負 少しでもお役に立てるよう頑張ります。



氏名 <sup>ちば</sup>千葉 <sup>あやか</sup>彩香

役職 主査農業普及員（岩泉）

前所属 農業普及技術課 主任

出身地 盛岡市

趣味 長風呂

抱負 新採用が宮古でした。またよろしくお願いします。



氏名 <sup>いとう</sup>伊藤 <sup>ゆうき</sup>優希

役職 技師（岩泉・新採用）

出身地 八幡平市

趣味 温泉めぐり、散歩

抱負 先輩方から多くのことを吸収して頑張ります。よろしく  
お願いします。



## 転出者の紹介

氏名（役職）	転出先
佐藤 正一（所長）	八幡平農業改良普及センター（再任用）
藤沢 巧（技術主幹兼地域指導課長）	岩手県農業研究センター
上出 拓海（農業普及員）	八幡平農業改良普及センター（岩手町駐在）
佐藤 翠（農業普及員）	県庁・農業振興課
砂子田 慎一郎（技師）	八幡平農業改良普及センター（岩手町駐在）
菅野 史拓（上席農業普及員）	県庁・農産園芸課
加藤 清吾（上席農業普及員）	一関農業改良普及センター
伊藤 孝浩（主査農業普及員）	八幡平農業改良普及センター（岩手町駐在）

## 農薬は適正に使用してください！

農薬の適正使用については、農薬を使用する者が必ず守るべき事項として、これまでも関係機関・団体と連携して啓発を行ってきているところです。しかしながら、依然として農薬残留基準の超過事案等が相次いで発生しています。作物の栽培にあたっては、以下の事項に特に注意のうえ、農薬の適正使用の徹底についてお願いします。

- (1) 農薬のラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認したうえで使用するとともに、農薬の使用記録を残しておく。
- (2) 農薬散布器具、収穫容器、農作業用具等の洗浄不足が無いが、点検する。
- (3) 上記のほか、農薬の飛散防止や土壌残留等にも十分に注意する。
- (4) 農業生産工程管理（GAP）の取組により、食の安全・安心確保の取組を一層強化する。

【担当：佐々木（貴）】

## 春の農作業安全月間が始まりました！

3月から暖かい日が続き、例年より早く農作業が忙しい時期を迎えました。

県では、4月15日から6月15日までを「春の農作業安全月間」とし、農作業事故防止を呼びかけています。

令和3年度のスローガンは、「全集中 ゆとりの呼吸で 安全作業」です。

県内では、令和2年度「春の農作業安全月間」期間中に、農業機械の横転に巻き込まれて下敷きになり、死亡するという農作業事故が1件発生しました。

慣れた作業でも、忙しさや不注意により、事故につながる場合があります。

心に余裕を持って、農作業を行いましょう。

【担当：千田】

## 林野火災の発生を防止しましょう！

例年、春先には林野火災が各地で発生しております。以下の事項に特に注意して林野火災の発生を防止しましょう。

- (1) 枯れ草や落ち葉の近くでたき火をしない。
- (2) 火気の使用中は消火用の水を必ず準備するとともに、その場を離れない。
- (3) 火気の使用後は完全に消火する。炎が見えなくなっても火種が残っていることがあるので十分に確認する。
- (4) 強風時及び乾燥時にはたき火、火入れをしない。
- (5) たばこは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに投げ捨てない。
- (6) 火遊びはしない・させない。
- (7) 火入れを行う際は市町村長の許可を必ず受けるとともに、あらかじめ必要な防火設備を準備する。

【担当：佐々木（貴）】

## 「新型コロナウイルス感染症に係る農林水産業相談窓口」を ご活用ください！

新型コロナウイルス感染症に係る農林水産業相談窓口が、宮古農林振興センター（TEL:0193-64-2214）と宮古農業改良普及センター（TEL:0193-64-2220）に設置されています。管内の生産者におかれましては、生産活動や経営等の相談にご活用ください。

【担当：住川】